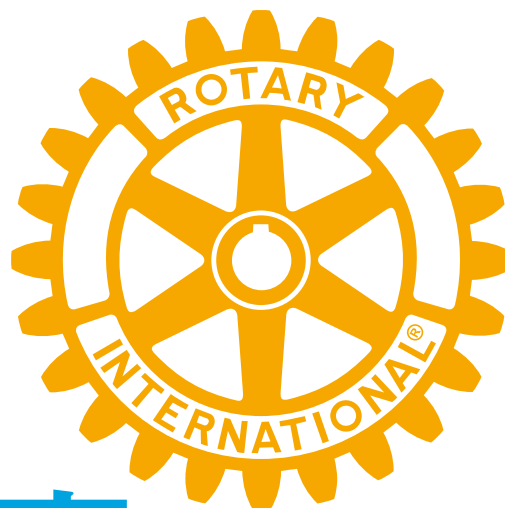




会員増強 委員長の仕事

会員増強委員長の役割は、新会員の勧誘と既存会員の維持のための行動計画を立て、実行することです。[「クラブを成功に導くリーダーシップ: 会員増強委員会編」](#)には会員増強委員会と委員長の仕事が詳しく説明されています。

責務

すべての委員会に共通

地区研修・協議会に出席する。

会長エレクトと協力して委員の人選と研修を行う。

必要に応じて小委員会を設ける(例: 入会見込者、会員の積極的参加、新会員オリエンテーション、メンタリングなど)。

定期的に委員会会合を開き、活動を計画する。

クラブ目標を支える委員会目標を立て、目標に向けた委員会の活動状況を随時確認する。

委員会予算を管理する。

クラブのほかの委員会と協力する。複数クラブでの合同活動において地区委員会と協力する。

委員会の活動状況について、会長、理事会、クラブ全体に報告する。

そのほかにクラブが委員会に割り当てている役割を担う。

会員増強委員会

新会員勧誘の方法を会員に紹介し、会員維持策を実践する。

会員の職業分類を調べる。

現在の例会、プロジェクト、その他の活動を見直し、新会員にとって魅力的なクラブであるかどうかを評価する。

会員の満足度を高めるための行動計画を立てる。

会員増強と会員維持の成果を調べる。

必要に応じて、地区内で新クラブのスポンサー(親クラブ)となる。